

第 11 回日本がんリハビリテーション研究会

開催趣意書

会 期：2023 年 3 月 11 日（土）、3 月 12 日（日）

会 場：名古屋国際会議場

〒456-0036 愛知県名古屋市熱田区熱田西町 1-1

TEL: 052-683-7711(代表)

大会長：杉浦 英志

(名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻 教授)

事務局：〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20

名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻

電話 052-719-1364/FAX 052-719-1364

E-mail: 11canreha@gmail.com

趣意

謹啓

貴台益々ご降盛の程お喜び申し上げます。

さて、この度、名古屋国際会議場において 2023 年 3 月 11 日（土）～3 月 12 日（日）に第 11 回日本がんリハビリテーション研究会を開催する運びとなりました。がんは日本の死因の第 1 位であり、日本では 2 人に 1 人はがんに罹り、3 人に 1 人はがんで亡くなっています。必然的に多くのがん患者さんがリハビリテーション治療の対象になり、国内外ともに多くの関心を集めています。本研究会は、がんリハビリテーションに関する知識と技術の発展と普及等に関する事業を行い、学術文化と国民福祉の向上に寄与することを目的としています。

近年、がんのリハビリテーションは手術患者の術後リハビリテーションのみでなく、術前から行うプレハビリテーションや社会復帰に向けたリハビリテーション、緩和ケアにおけるリハビリテーション、化学療法や放射線療法など副作用緩和に向けたリハビリテーション、超高齢者や小児・AYA 世代に向けたリハビリテーション、最近では腫瘍循環器リハビリテーションなど様々ながんリハビリテーションが注目されるようになって来ました。今後、多種多様のがんリハビリテーションの理解とともに、がん患者の特性に合わせたリハビリテーションの実践が求められます。

そこで、今回の研究会のテーマを「がんリハビリテーションの多様性」としました。がんリハビリテーションの多様性を理解するとともに新たながんリハビリテーションのステップとなることが期待されます。本研究会において活発なディスカッションができるよう、開催の準備を進めてまいります。

敬具

2022 年 6 月吉日

第 11 回日本がんリハビリテーション研究会
大会長 杉浦 英志

開催概要

1. 会議の名称
第11回日本がんリハビリテーション研究会
2. 主催機関及び責任者
責任者：杉浦 英志
事務局：〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20
名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻
電話 052-719-1364/FAX 052-719-1364
E-mail: 11canreha@gmail.com
3. 会期
2023年3月11日(土)～3月12日(日)
4. 会場：名古屋国際会議場
5. 来場予定者数
400名
6. 開催計画の概要
【学会テーマ】
がんリハビリテーションと多様性
【プログラム】
会長講演
教育講演
シンポジウム
パネルディスカッション
共催セミナー
一般演題（口演発表）
7. 同時開催
第4回愛知がん・リハビリテーション医学研究会講演会